

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年10月31日

上場会社名 アイティメディア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2148 URL <https://corp.itmedia.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 兼 CEO （氏名）大槻 利樹
 問合せ先責任者 （役職名）取締役CFO 兼 管理本部長 （氏名）加賀谷 昭大 TEL 03-5210-5012
 半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有 <https://corp.itmedia.co.jp/ir/>
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	3,847	0.2	885	△15.8	917	△13.2	629	△12.2	629	△12.2	629	△12.2
2024年3月期中間期	3,841	△8.7	1,052	△24.4	1,056	△24.0	717	△24.2	717	△24.2	717	△24.2

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	32.48	32.28
2024年3月期中間期	36.33	35.99

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	10,045	8,503	8,503	84.6
2024年3月期	11,378	9,803	9,803	86.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	15.00	—	100.00	115.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期（予想）			—	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,630	7.9	2,300	3.2	1,560	3.9	80.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期中間期	21,042,600株	2024年3月期	21,030,300株
2025年3月期中間期	1,653,159株	2024年3月期	1,653,153株
2025年3月期中間期	19,386,117株	2024年3月期中間期	19,744,668株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料は、2024年10月31日に当社ホームページ (<https://corp.itmedia.co.jp/ir/>) に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 要約中間連結財政状態計算書	10
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	11
(3) 要約中間連結持分変動計算書	13
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の売上収益は、38億47百万円（前年同期比6百万円増、0.2%増）となりました。広告収益は減少しましたが、デジタルイベント収益、運用型広告収益を中心に改善が継続しました。一方、成長を継続する子会社発注ナビ株式会社における中長期での成長拡大を見据えた投資の影響により総コストが増加し、営業利益については8億85百万円（同1億66百万円減、15.8%減）となりました。また営業外においては、持分法適用関連会社であるアイティクラウド株式会社についての持分法による投資利益39百万円の計上があり、税引前利益については9億17百万円（同13.2%減）となりました。

以上の結果、当中間期連結会計期間の経営成績につきましては、売上収益は38億47百万円（同0.2%増）、営業利益は8億85百万円（同15.8%減）、中間利益は6億29百万円（同12.2%減）および親会社の所有者に帰属する中間利益は6億29百万円（同12.2%減）となりました。

連結経営成績の概況

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率 (%)
売上収益	3,841	3,847	+6	+0.2
EBITDA ^{※1}	1,168	986	△182	△15.6
営業利益	1,052	885	△166	△15.8
税引前利益	1,056	917	△139	△13.2
中間利益	717	629	△87	△12.2
親会社の所有者に帰属する 中間利益	717	629	△87	△12.2

※1 EBITDA：営業利益+減価償却費+無形資産の償却費+株式報酬費用+減損損失-その他の一時収益+その他の一時費用

セグメント別の概況

当社グループは、事業部門を基礎とした対象顧客・サービス別のセグメントから構成されており、「BtoBメディア事業」と「BtoCメディア事業」の2つを報告セグメントとしております。

(単位：百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率 (%)
BtoBメディア事業				
売上収益	3,201	3,168	△33	△1.0
EBITDA	1,020	854	△166	△16.3
営業利益	919	768	△151	△16.4
BtoCメディア事業				
売上収益	639	679	+39	+6.2
EBITDA	148	132	△15	△10.6
営業利益	133	117	△15	△11.7

セグメント別売上収益の分解情報(収益モデル別)

(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率(%)
BtoBメディア事業				
リードジェネレーション	1,396	1,424	+27	+2.0
デジタルイベント	748	867	+119	+16.0
広告	1,056	875	△180	△17.1
小計	3,201	3,168	△33	△1.0
BtoCメディア事業				
運用型広告	639	679	+39	+6.2
小計	639	679	+39	+6.2
合計	3,841	3,847	+6	+0.2

■ 当中間連結会計期間のBtoBメディア事業

BtoBメディア事業の売上収益は、31億68百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

外資系顧客のマーケティング活動の鈍化が継続しており、広告収益が減少しました。一方、AIやセキュリティをテーマとしたニーズの高い領域での主催型デジタルイベントの規模拡大により、デジタルイベント収益は増収しました。

- ・ 2024年7月から9月に開催した主なメディア主催型デジタルイベント



ITmedia デジタル戦略EXPO 2024 夏: ITmedia ビジネスオンライン、ITmedia NEWS
<https://members15.live.itmedia.co.jp/library/Njg4NTY%253D>



ITmedia Virtual EXPO 2024 夏: ITmedia Virtual EXPO 実行委員会
<https://members16.live.itmedia.co.jp/library/NzEwODg%3D>



ITmedia Security Week 2024 夏: @IT、ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブ
<https://members05.live.itmedia.co.jp/library/NzMxMjQ%253D>



ITmedia DX Summit Vol.21: ITmedia エグゼクティブ、ITmedia エンタープライズ
<https://members10.live.itmedia.co.jp/library/NzIzMjY%253D>

- ・ リードジェン会員数は133万人となり、前年同期比7.5%増加しました。
- ・ AI関連製品のメーカーを対象としたセミナー「専門メディアが見る「生成AI」「製造業AI」の最新動向 AI時代のマーケットトレンド」を開催しました。当社ではAI専門メディア「ITmedia AI+」を立ち上げるなど、同領域の拡大を図っております。
https://corp.itmedia.co.jp/pr/releases/2024/08/26/ai_seminar/
- ・ 子会社である発注ナビ株式会社(以下「発注ナビ」)につきましては、システム開発会社の加盟社数は、2024年10月7日時点で6,000社を突破しました。足元では8か月で1,000社の増加となり、増加のペースが加速しています。
<https://hnavi.co.jp/info/2410181100/>


- ・発注ナビでは、新たに情シス・社内IT支援に特化したカテゴリを開設しました。企業のITインフラを管理する情報システム部門では、業務拡大の一方でIT人材が慢性的に不足しており、多くの企業でアウトソーシングが進んでいます。このような状況に対応し、情報シス業務の支援を行う会社とのマッチングサービスを提供します。

<https://hnavi.co.jp/info/2405141400/>

- ・発注ナビのSaaS領域強化のため先行投資を行い、成長拡大を図っております。




BtoBメディア事業のメディア一覧

顧客分野	主要メディア・サービス	情報の内容	対象とするユーザー
	 https://techtarget.itmedia.co.jp/	IT関連製品やサービスの導入・購買を支援する情報並びに会員サービス	企業の情報システムの導入に意思決定権を持つキーパーソン
	 https://kn.itmedia.co.jp/		
	 https://hnavi.co.jp/	情報システム開発会社検索・比較サービス	企業情報システム開発の発注担当者
	 https://marketing.itmedia.co.jp/	デジタルマーケティングの最新動向や製品・サービスの情報	企業のマーケティング活動に携わる担当者
IT&ビジネス分野	 https://atmarkit.itmedia.co.jp/	専門性の高いIT関連情報・技術解説	システム構築や運用等に携わるIT関連技術者
	 https://www.itmedia.co.jp/news/		
	 https://www.itmedia.co.jp/enterprise/	IT関連ニュースおよび企業情報システムの導入や運用等の意思決定に資する情報	IT業界関係者、企業の情報システム責任者および管理者
	 https://mag.executive.itmedia.co.jp/		
	 https://www.itmedia.co.jp/aipius/		
	 https://www.itmedia.co.jp/business/	時事ニュースの解説、仕事効率向上に役立つ情報	20~30代ビジネスパーソン

顧客分野	主要メディア・サービス	情報の内容	対象とするユーザー
産業テクノロジー分野	 https://monoist.itmedia.co.jp/		
	 https://eetimes.itmedia.co.jp/	エレクトロニクス分野の最新技術解説並びに会員サービス	エレクトロニクス関連の技術者
	 https://edn.itmedia.co.jp/		
	 https://techfactory.itmedia.co.jp/	製造業のための製品／サービスの導入・購買を支援する会員制サービス	製造業に従事するエンジニアや製品・サービス導入担当者
	 https://built.itmedia.co.jp/	建築・建設分野の最新技術解説並びに会員サービス	建築・建設業界の実務者
	 https://www.itmedia.co.jp/smartjapan/	節電・蓄電・発電のための製品検討や導入に役立つ情報	企業や自治体の総務部、システム部、小規模工場経営者
	デジタルイベント	展示会やセミナーなどのイベントをオンラインで開催するサービス	

掲載記事のご紹介

(一部の記事においては、記事全文を閲覧する場合に会員登録が必要な場合がございます。)

メディア	記事内容
	<p>星野リゾートの開発現場が明かす「SaaS」「ローコード／ノーコード」「プロコード」の使い分けポイント</p> <p>2024年7月18日公開</p> <p>旧態然としたシステムを使い続けていた星野リゾートは、ある失敗をきっかけに、業界でも指折りのDX先進企業へと変貌を遂げた。「SaaS」「ローコード／ノーコード」「プロコード」を使い分け、現在も変革し続ける同社に、その秘密を聞いた。</p> <p>https://atmarkit.itmedia.co.jp/ait/articles/2406/19/news002.html</p>
	<p>“脱”VMware、一番人気の移行先は？ 読者のホンネを聞いた</p> <p>2024年7月23日公開</p> <p>VMwareのライセンス変更によって、多くの企業のIT予算に影響が出ている。VMware製品群を利用しているユーザーが具体的にどういった製品に乗り換えるのか、調査結果を基に紹介する。</p> <p>https://kn.itmedia.co.jp/kn/articles/2407/22/news019.html</p>
	<p>教えて！あの企業の20代エース社員</p> <p>2024年10月11日公開</p> <p>あの企業の20代エース社員にも「新卒1年目」の頃があった。挑戦、挫折、努力、苦悩——さまざまな経験を乗り越えて、今の姿がある。企業に新たな風を吹き込み、ビジネスの未来を切り開く20代エース社員の「仕事」に迫る。</p> <p>https://www.itmedia.co.jp/business/series/39583/</p>

メディア

記事内容

有識者に聞く
「プッチンプリン出荷停止」はなぜ起きた? “ベンダーのせい”にできない根深き問題



2024年7月3日公開

近年、大手企業のERP導入失敗事例として注目を集めたのが「プッチンプリン問題」である。

<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2407/02/news080.html>

三菱電機ギネス世界記録への道
メンバーの愛と情熱が源、ルービックキューブ世界最速ロボ開発秘話



2024年6月25日公開

三菱電機の若手メンバーが開発した「パズルキューブを最速で解くロボット」がギネス世界記録に認定された。製作に当たった同社 コンポーネント製造技術センターの若手メンバーに開発の背景などを聞いた。

<https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2406/25/news065.html>

■当中間連結会計期間のBtoCメディア事業

BtoCメディア事業の売上収益は、6億79百万円(前年同期比6.2%増)となりました。前期からの広告市場単価の低迷が継続しておりますが、PVが拡大し、増収に転じております。デジタル関連機器の製品情報、活用情報サイト「Fav-Log」が好調に推移しています。

- ・一般社団法人 デジタル広告品質認証機構(JICDAQ)による品質認証事業者の認証を取得しました。サステナビリティ基本方針に基づく取り組みの一環として、メディアのデジタル広告の品質管理を進めております。
<https://corp.itmedia.co.jp/pr/releases/2024/09/02/jicdaq/>
- ・AIを活用したメディア開発を推進するため、2023年10月より専任部門を設置しております。AIを活用して制作された記事は、2024年9月までの累計実績で3,758本に至っております。
- ・Webメディア「ねとらぼ」では、2011年の開設以来最大のブランドリニューアルを実施しました。メディアロゴを刷新し、新たに会員制のコミュニティサービス「ねとらぼクチコミ」を開始しております。ターゲット、コンテンツの幅を広げ、インターネットを利用するすべての方々のための総合メディアとしてさらなる拡大を目指します。
https://corp.itmedia.co.jp/pr/releases/2024/05/21/nlab_renew/

BtoCメディア事業のメディア一覧

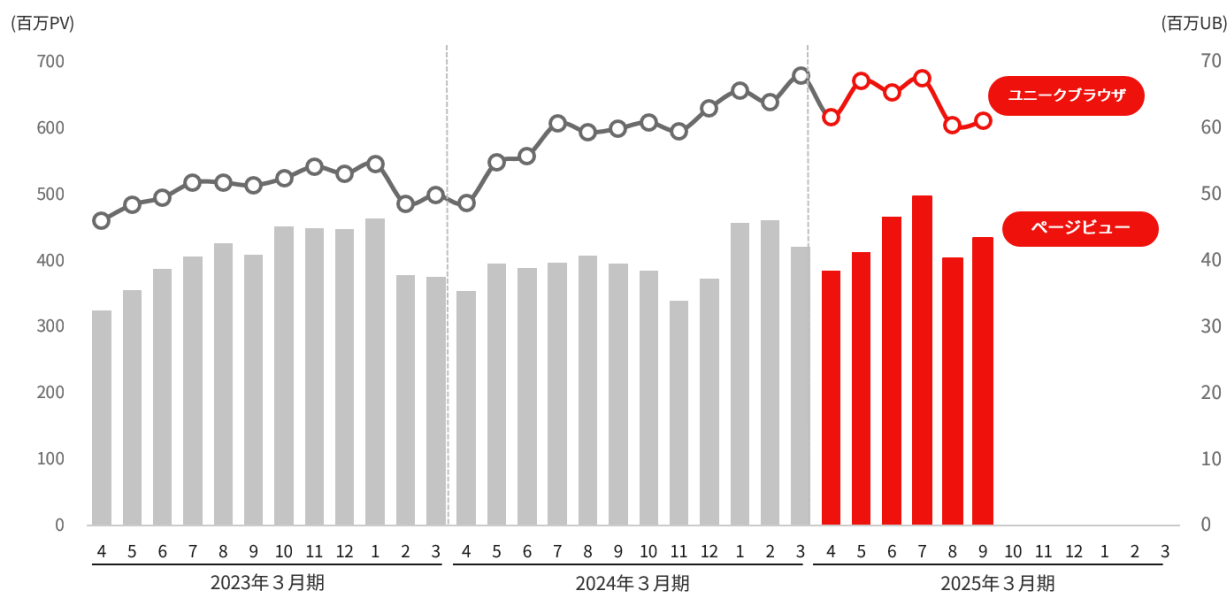
顧客分野	メディア・サービス	情報の内容	対象とするユーザー
	 https://www.itmedia.co.jp/mobile/		
コンシューマ 一分野	 https://www.itmedia.co.jp/pcuser/	パソコン、スマートフォン、AV機器等デジタル関連機器の製品情報、活用情報	デジタル関連機器等の活用に積極的な消費者
	 https://www.itmedia.co.jp/fav/		
	 https://nlab.itmedia.co.jp/	ネット上の旬な話題の提供	インターネットユーザー

掲載記事のご紹介

(一部の記事においては、記事全文を閲覧する場合に会員登録が必要な場合がございます。)

メディア	記事内容
	<p>MVNOに聞く “完全0円”の格安SIM「みんギガ」が生まれたワケ 若年層のギガ難民を救えるか 2024年7月2日公開 「0円」を打ち出す通信サービスは注目を集めやすい反面、採算が取りづらく、継続性には難点もあった。1年強で1GB以下0円を終了させた楽天モバイルは、その代表例といえるかもしれない。 https://www.itmedia.co.jp/mobile/articles/2407/02/news163.html</p>
	<p>今どき！ 買いどき！ デジモノ道案内！ 「SwitchBot 開閉センサー」で宅配ボックスやごみストッカーを“お手軽IoT化”したら在宅ワークと相性抜群だった 2024年8月21日公開 筆者は最近、戸建てに引っ越した。マイホームを手に入れて“QoL”（生活の質）が向上できた一方で、マンションなどの集合住宅とは違って住まいに関する設備や環境は自分で考えて選択し、構築していく必要がある。 https://www.itmedia.co.jp/pcuser/articles/2408/21/news075.html</p>
	<p>今売れている「スポットクーラー」おすすめ&ランキング 工事不要ですぐ涼しい！ エアコン取り付け不可でも快適に【2024年6月版】 2024年6月19日公開 ルームエアコンが取り付けられない部屋でも、工事不要で設置して使用でき、すぐに涼しい風を出してくれる家電が「スポットクーラー」（スポットエアコン）です。比較的コンパクトなモデルが多く、家の中のさまざまな場所を冷風で快適にしてくれます。 https://www.itmedia.co.jp/fav/articles/2406/19/news112.html</p>
	<p>【ワークマン】腰痛持ち必見！「Xブラスターアシストワークパンツ」は普段使いしやすいコスパ抜群ウェア！ 2024年7月9日公開 主に作業服・安全靴などを取り扱い、小売No.1シェアを誇る「ワークマン」。近年はデザイン性の高いアウトドアウェアやスポーツウェアなども展開し、幅広い世代から人気を集めています。 https://nlab.itmedia.co.jp/research/articles/2784516/</p>
	<p>「これはさすがに……」 キャッシュレス推進“ピクトグラム”コンクールに疑問の声相次ぐ…… 主催者の見解は 2024年6月20日公開 コンクールの主催者に見解を聞きました。 https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2406/20/news090.html</p>
	<p>汚れたホースに綿を詰めて流したら…… 無色透明の水が“信じられない色”へ変化する光景に思わずゾッとする 2024年6月30日公開 メダカのために使っているホース。 https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2406/30/news007.html</p>

全社のメディア力を計る指標であるページビュー(PV)^{※2}、ユニークブラウザ(UB)^{※3}の当中間連結会計期間での最高値はそれぞれ、ページビューが月間4.9億PV、ユニークブラウザが月間6,745万UBとなっております。



※2 ページビュー : あるウェブサイトがどの程度アクセスされているかを示す単位のひとつ。1ページビューとは、あるウェブサイトを開いているユーザーのブラウザに、そのウェブページが1ページ分表示されることを指します。通常、ウェブサイトを見ているユーザーは、サイト内の複数のページを閲覧するため、そのサイトを訪問した実質のユーザー数(ユニークブラウザ数)よりもページビュー数のほうが数倍多くなります。

※3 ユニークブラウザ : ウェブサイトがどの程度アクセスされているかを示す指標のひとつ。1ユニークブラウザとは、ある一定期間内にウェブサイトアクセスされた、重複のないブラウザ数を指します。ウェブサイトの人気や興味の度合い、その推移を判断する指標として広く用いられています。

(2) 当中間期の財政状態の概況

資産、負債及び資本の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は100億45百万円(前連結会計年度比13億32百万円減)となりました。主な増減の内訳は、現金及び現金同等物の減少10億71百万円、営業債権及びその他の債権の減少2億17百万円であります。

負債合計は15億42百万円(同31百万円減)となりました。主な増減の内訳は、営業債務及びその他の債務の減少1億11百万円、未払法人所得税の増加54百万円およびその他の流動負債の増加17百万円であります。

資本合計は85億3百万円(同13億0百万円減)となりました。主な増減の内訳は、利益剰余金の減少13億7百万円あります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より10億71百万円減少し、68億70百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動の結果、増加した資金は9億78百万円となり、前年同期と比べ2億3百万円増加いたしました。主な内訳は、税引前中間利益9億17百万円、減価償却費及び償却費1億0百万円、営業債権及びその他の債権の減少2億17百万円および法人所得税の支払額2億31百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動の結果、減少した資金は63百万円となり、前年同期と比べ41百万円増加いたしました。主な内訳は、有形固定資産及び無形資産の取得による支出63百万円あります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動の結果、減少した資金は19億86百万円となり、前年同期と比べ12億61百万円減少いたしました。主な内訳は、配当金の支払額19億33百万円およびリース負債の支払額59百万円あります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月1日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。なお、現在の連結業績予想は、本第2四半期(中間期)決算短信提出日時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、連結業績予想の修正が必要になった場合には速やかに公表いたします。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	7,941,905	6,870,800
営業債権及びその他の債権	1,501,080	1,283,124
その他の金融資産	500,015	500,055
棚卸資産	8,519	10,907
その他の流動資産	157,118	108,640
流動資産合計	10,108,640	8,773,528
非流動資産		
有形固定資産	153,117	142,590
使用権資産	136,517	78,009
のれん	443,471	443,471
無形資産	237,113	274,812
その他の金融資産	97,918	97,918
持分法で会計処理されている投資	—	39,815
繰延税金資産	188,623	187,356
その他の非流動資産	12,771	8,437
非流動資産合計	1,269,533	1,272,413
資産合計	11,378,173	10,045,942
(負債及び資本の部)		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	434,291	322,848
リース負債	119,632	70,240
未払法人所得税	232,004	286,346
契約負債	210,573	282,461
その他の流動負債	497,573	514,730
流動負債合計	1,494,076	1,476,627
非流動負債		
リース負債	12,677	2,190
引当金	19,300	19,300
その他の非流動負債	48,258	44,735
非流動負債合計	80,235	66,226
負債合計	1,574,311	1,542,853
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	1,882,641	1,886,275
資本剰余金	2,180,432	2,183,993
利益剰余金	7,536,675	6,228,690
自己株式	△1,795,898	△1,795,908
その他の包括利益累計額	10	38
親会社の所有者に帰属する持分合計	9,803,861	8,503,088
資本合計	9,803,861	8,503,088
負債及び資本合計	11,378,173	10,045,942

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	3,841,467	3,847,567
売上原価	1,432,835	1,487,128
売上総利益	2,408,631	2,360,438
販売費及び一般管理費	1,356,225	1,472,008
その他の営業損益	308	△2,469
営業利益	1,052,714	885,960
その他の営業外損益(△は費用)	4,123	△8,461
持分法による投資損益(△は損失)	—	39,815
税引前中間利益	1,056,838	917,315
法人所得税	339,501	287,586
中間利益	717,337	629,729
中間利益の帰属		
親会社の所有者	717,337	629,729
非支配持分	—	—
	717,337	629,729
親会社の所有者に帰属する1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	36.33	32.48
希薄化後1株当たり中間利益(円)	35.99	32.28

要約中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間利益	717,337	629,729
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
FVTOCIの負債性金融資産	13	27
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	13	27
その他の包括利益(税引後)合計	13	27
中間包括利益合計	717,350	629,756
中間包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	717,350	629,756
非支配持分	—	—
	717,350	629,756

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額	合計	
2023年4月1日	1,834,061	2,135,830	6,603,927	△1,144,612	—	9,429,206	9,429,206
中間包括利益							
中間利益	—	—	717,337	—	—	717,337	717,337
その他の包括利益	—	—	—	—	13	13	13
中間包括利益合計	—	—	717,337	—	13	717,350	717,350
所有者との取引額等							
新株の発行	3,280	3,213	—	—	—	6,493	6,493
剰余金の配当	—	—	△277,113	—	—	△277,113	△277,113
自己株式の取得	—	△2,615	—	△387,742	—	△390,358	△390,358
株式に基づく報酬取引	—	△217	—	—	—	△217	△217
所有者との取引額等合計	3,280	380	△277,113	△387,742	—	△661,195	△661,195
2023年9月30日	1,837,341	2,136,210	7,044,151	△1,532,355	13	9,485,361	9,485,361

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額	合計	
2024年4月1日	1,882,641	2,180,432	7,536,675	△1,795,898	10	9,803,861	9,803,861
中間包括利益							
中間利益	—	—	629,729	—	—	629,729	629,729
その他の包括利益	—	—	—	—	27	27	27
中間包括利益合計	—	—	629,729	—	27	629,756	629,756
所有者との取引額等							
新株の発行	3,634	3,560	—	—	—	7,195	7,195
剰余金の配当	—	—	△1,937,714	—	—	△1,937,714	△1,937,714
自己株式の取得	—	—	—	△10	—	△10	△10
所有者との取引額等合計	3,634	3,560	△1,937,714	△10	—	△1,930,529	△1,930,529
2024年9月30日	1,886,275	2,183,993	6,228,690	△1,795,908	38	8,503,088	8,503,088

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	1,056,838	917,315
減価償却費及び償却費	116,450	100,894
持分法による投資損益(△は益)	—	△39,815
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加額)	69,763	217,955
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少額)	△831	△121,892
契約負債の増減額(△は減少額)	19,875	71,887
その他	△13,981	63,549
小計	1,248,115	1,209,894
利息及び配当金の受取額	160	784
利息の支払額	△389	△213
法人所得税の支払額	△472,722	△231,990
営業活動によるキャッシュ・フロー	775,164	978,473
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	△200,000
定期預金の払戻による収入	200,000	200,000
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△142,352	△63,516
敷金及び保証金の回収による収入	49,000	—
その他	△12,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△105,352	△63,516
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株の発行による収入	6,493	7,195
配当金の支払額	△276,973	△1,933,368
自己株式の取得による支出	△387,742	△10
リース負債の返済による支出	△63,855	△59,879
その他	△2,615	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△724,693	△1,986,062
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△54,881	△1,071,105
現金及び現金同等物の期首残高	7,978,694	7,941,905
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,923,813	6,870,800

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、事業部門を基礎とした対象顧客・サービス別のセグメントから構成されており、「BtoBメディア事業」と「BtoCメディア事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの会計方針は、当社グループの会計方針と同一であります。報告セグメントの利益は、「営業利益」であります。セグメント利益の算定にあたっては、特定の報告セグメントに直接関連しない費用を、最も適切で利用可能な指標に基づき各報告セグメントに配分しております。セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下の通りです。

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	BtoBメディア	BtoCメディア	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上高	3,201,497	639,970	3,841,467	—	3,841,467
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	<u>3,201,497</u>	<u>639,970</u>	<u>3,841,467</u>	—	<u>3,841,467</u>
セグメント利益	<u>919,669</u>	<u>133,045</u>	<u>1,052,714</u>	—	<u>1,052,714</u>
その他の営業外損益(△は費用)					4,123
持分法による投資損益(△は損失)					—
税引前中間利益					<u>1,056,838</u>

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	BtoBメディア	BtoCメディア	合計		
売上収益					
外部顧客からの売上高	3,168,127	679,440	3,847,567	—	3,847,567
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	<u>3,168,127</u>	<u>679,440</u>	<u>3,847,567</u>	—	<u>3,847,567</u>
セグメント利益	<u>768,533</u>	<u>117,427</u>	<u>885,960</u>	—	<u>885,960</u>
その他の営業外損益(△は費用)					△8,461
持分法による投資損益(△は損失)					39,815
税引前中間利益					<u>917,315</u>

(重要な後発事象)

該当事項はありません。